

2027年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年8月5日

上場会社名 マミヤ・オーピー株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7991 URL <https://www.mamiya-op.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 関口 正夫
 問合せ先責任者 (役職名) 総務部長 (氏名) 熊手 正浩 TEL 03-6273-7360
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無：有
 決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2027年3月期第1四半期の連結業績（2026年4月1日～2026年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年3月期第1四半期	4,030	△48.7	△16	—	190	△87.3	135	△87.3
2026年3月期第1四半期	7,849	△12.5	1,510	△35.0	1,496	△43.1	1,060	△43.4

(注) 包括利益 2027年3月期第1四半期 52百万円(△94.6%) 2026年3月期第1四半期 972百万円(△46.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期第1四半期	13.08	12.99
2026年3月期第1四半期	102.65	102.05

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2027年3月期第1四半期	37,825	25,650	67.6	2,476.53
2026年3月期	39,929	26,117	65.2	2,521.89

(参考) 自己資本 2027年3月期第1四半期 25,576百万円 2026年3月期 26,045百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	0.00	—	50.00	50.00
2027年3月期	—	—	—	—	—
2027年3月期（予想）	—	0.00	—	50.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2027年3月期の連結業績予想（2026年4月1日～2027年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	17,000	△18.6	900	△52.2	1,500	△37.2	1,200	△29.9
								116.19

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無
新規 - 社 (社名) -、除外 - 社 (社名) -

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

2027年3月期1Q	10,508,670株	2026年3月期	10,508,670株
2027年3月期1Q	180,965株	2026年3月期	180,855株
2027年3月期1Q	10,327,780株	2026年3月期1Q	10,328,565株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その実現には潜在的リスクや不確実性を含んでおり、さらに業績に影響を与える要因はこれに限定されるものではありません。従いまして、諸要因の変化により実際の業績等は記載事項と大きく異なる可能性があることをあらかじめご承知おきください。業績予想の背景、前提条件等につきましては、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（1）経営成績に関する説明」、同じくP. 3「（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(セグメント情報等の注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果により景気が緩やかに回復しておりますが、中東地域における紛争をめぐる情勢、金融資本市場の変動の影響にも引き続き注意する必要があります。

このような経済環境の下で当社グループは、「モノづくり」から「コトづくり」への転換を視野に入れつつ、グループの経営資源を有効に活用し、安定的かつ持続的な成長を実現するため、高品質と低コストを兼ね備えた製品の提供や、顧客の抱える課題に対する解決の提案に取り組み、更なる企業価値の向上を図ってまいりました。

当第1四半期連結累計期間の経営成績は、前年同期まで継続した紙幣識別機の改刷対応の終息、原価率の上昇、新築不動産に係る租税公課の影響を受けました。この結果、売上高は40億30百万円（前年同期比48.7%減）、営業損失は16百万円（前年同期は15億10百万円の営業利益）、経常利益は1億90百万円（前年同期比87.3%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1億35百万円（前年同期比87.3%減）となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりです。

(電子機器事業セグメント)

アミューズメント関連製品につきましては、スマート遊技機の設置台数が継続的に伸び、スマート遊技機用ユニットの需要が順調に推移している中、さらなる販売拡大に向け、他社製品との差別化に取り組みつつ、取引先への積極的なアプローチに努めてまいりました。

液晶小型券売機につきましては、新型券売機の販売に伴う販売単価の上昇の影響を受けましたが、広告運用の効率化、リユース品の販売強化及び代理店との関係強化に継続的に取り組んでおります。

ゴルフ場用カートクーラー冷風機「涼風/SUZUKAZE」につきましては、猛暑が続く日本の夏において、快適にゴルフをプレーいただけるよう、2026年4月より製造販売を開始いたしました。

ゴルフ場芝刈機用の自律走行システム「I-GINS」につきましては、不安定な世界情勢の影響に起因する車体価格の上昇の影響を受けながらも、組立工数や構成部品の見直しによるコストダウンに取り組み、かつ、並行して新規顧客開拓や既存顧客との関係性の強化をはじめとした戦略的な営業活動の実践並びに提携先と連携した販売体制及び保守メンテナンス体制の強化に継続的に取り組みました。

システムソリューションにつきましては、システム開発やシステム移行支援に関する委託先からの追加や変更の要望にも積極的に取り組んでおります。

モバイルオーダーシステムにつきましては、顧客のニーズに合わせた「CHUUMO」のカスタマイズに積極的に取り組みつつ、広告媒体や広告掲載内容の見直しによる新規顧客の獲得及び代理店開拓による販売チャネルの強化にも引き続き注力しております。

この結果、電子機器事業セグメントの売上高は27億65百万円（前年同期比56.9%減）、営業利益は76百万円（前年同期比94.6%減）となりました。

(スポーツ事業セグメント)

スポーツ事業につきましては、グローバルブランドの「LIN-Q」をはじめ、「ATTAS」や「Recoil」といったブランドを展開し、認知度の更なる向上を目指して国内外での販促活動に注力してまいりました。

不安定な世界情勢による原材料費や物流コストの高騰の影響を受けつつも、「LIN-Q」ユーザーである海外プロ選手及び「ATTAS」ユーザーの女子プロ選手の活躍やYouTubeをはじめとするSNSの活用によるブランド認知度向上を図るとともに、新製品の「LIN-Q PowerCore RED」及び「LIN-Q PowerCore WHITE」の発売に伴う販売拡大に取り組んでまいりました。

この結果、スポーツ事業セグメントの売上高は11億94百万円（前年同期比13.9%減）、営業損失は23百万円（前年同期は88百万円の営業利益）となりました。

(不動産事業セグメント)

不動産事業につきましては、収益不動産の購入検討、仲介ビジネス、管理会社の見直し等に取り組んだことに加え、賃貸マンション「Luvast Yoyogi Park」の竣工もあり、売上高は伸張したものの、「Luvast Yoyogi Park」完成時の税務規定に基づく一過性の費用処理により、利益が減少いたしました。

この結果、不動産事業セグメントの売上高は70百万円（前年同期比34.2%増）、営業損失は69百万円（前年同期は5百万円の営業利益）となりました。

（2）財政状態に関する説明

（資産）

当四半期連結会計期間末における流動資産は205億36百万円となり、前連結会計年度末に比べ17億11百万円減少いたしました。これは主に現金及び預金が9億21百万円、受取手形及び売掛金が1億84百万円、原材料及び貯蔵品が3億49百万円減少したことによるものであります。固定資産は172億89百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億91百万円減少いたしました。これは主に建物及び構築物が6億36百万円増加したものの、建設仮勘定が5億63百万円、土地が1億32百万円、投資有価証券が1億93百万円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は378億25百万円となり、前連結会計年度末に比べ21億3百万円減少いたしました。

（負債）

当四半期連結会計期間末における流動負債は46億17百万円となり、前連結会計年度末に比べ11億43百万円減少いたしました。これは主に買掛金が5億50百万円、電子記録債務が2億87百万円、短期借入金が2億10百万円減少したことによるものであります。固定負債は75億57百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億94百万円減少いたしました。これは主に長期借入金が4億70百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は121億74百万円となり、前連結会計年度末に比べ16億37百万円減少いたしました。

（純資産）

当四半期連結会計期間末における純資産合計は256億50百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億66百万円減少いたしました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益1億35百万円の計上があったものの、剰余金配当による減少が5億21百万円あったことによるものであります。この結果、自己資本比率は67.6%（前連結会計年度末は65.2%）となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2027年3月期の通期の連結業績予想並びに配当予想につきましては2026年5月13日付「2026年3月期決算短信〔日本基準〕（連結）」において公表した内容から変更ありません。

なお、上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因により予想数値と異なることがあります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,342,901	9,421,449
受取手形及び売掛金	3,495,164	3,310,242
電子記録債権	469,009	455,379
商品及び製品	1,797,103	1,737,408
仕掛品	902,236	981,207
原材料及び貯蔵品	3,863,415	3,513,622
販売用不動産	265,659	265,659
その他	1,118,672	857,704
貸倒引当金	△6,093	△6,435
流動資産合計	22,248,069	20,536,239
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,764,326	2,400,396
機械装置及び運搬具（純額）	378,074	362,337
工具、器具及び備品（純額）	169,777	150,921
土地	5,378,856	5,246,675
リース資産（純額）	319,075	312,062
建設仮勘定	792,702	228,988
有形固定資産合計	8,802,812	8,701,382
無形固定資産		
その他	196,830	195,719
無形固定資産合計	196,830	195,719
投資その他の資産		
投資有価証券	6,456,559	6,262,958
長期貸付金	671,589	655,235
出資金	1,056,090	1,040,590
繰延税金資産	35,563	35,214
その他	470,209	406,623
貸倒引当金	△8,525	△8,525
投資その他の資産合計	8,681,487	8,392,098
固定資産合計	17,681,130	17,289,200
資産合計	39,929,200	37,825,439

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,728,550	1,178,244
電子記録債務	492,098	204,981
短期借入金	400,000	190,000
1年内償還予定の社債	200,000	—
1年内返済予定の長期借入金	2,318,579	2,239,203
未払法人税等	40,674	70,553
賞与引当金	123,053	88,074
その他	457,409	645,943
流動負債合計	5,760,366	4,617,000
固定負債		
社債	700,000	700,000
長期借入金	5,473,085	5,002,756
繰延税金負債	477,583	444,390
役員退職慰労引当金	43,750	44,880
退職給付に係る負債	990,484	1,000,593
その他	366,858	364,834
固定負債合計	8,051,760	7,557,455
負債合計	13,812,127	12,174,455
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,804,323	4,804,323
資本剰余金	1,030,685	1,030,685
利益剰余金	18,099,065	17,712,304
自己株式	△260,708	△260,828
株主資本合計	23,673,364	23,286,484
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,057,076	959,967
繰延ヘッジ損益	34,857	28,510
為替換算調整勘定	1,280,313	1,301,920
その他の包括利益累計額合計	2,372,247	2,290,399
新株予約権	60,890	64,367
非支配株主持分	10,569	9,732
純資産合計	26,117,072	25,650,983
負債純資産合計	39,929,200	37,825,439

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
売上高	7,849,995	4,030,401
売上原価	5,318,105	2,907,035
売上総利益	2,531,889	1,123,366
販売費及び一般管理費	1,021,755	1,140,205
営業利益又は営業損失(△)	1,510,134	△16,839
営業外収益		
受取利息	9,601	13,151
受取配当金	73,396	74,845
為替差益	—	63,327
持分法による投資利益	67,285	88,354
その他	1,585	4,064
営業外収益合計	151,868	243,742
営業外費用		
支払利息	25,877	32,023
為替差損	137,264	—
その他	2,237	4,721
営業外費用合計	165,379	36,744
経常利益	1,496,624	190,158
特別利益		
固定資産売却益	—	14,292
特別利益合計	—	14,292
特別損失		
固定資産除売却損	1,103	564
特別損失合計	1,103	564
税金等調整前四半期純利益	1,495,520	203,887
法人税、住民税及び事業税	369,451	57,136
法人税等調整額	65,866	12,465
法人税等合計	435,318	69,601
四半期純利益	1,060,202	134,285
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△28	△837
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,060,230	135,122

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
四半期純利益	1,060,202	134,285
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	61,400	△90,179
繰延ヘッジ損益	△20,437	△6,346
為替換算調整勘定	△111,934	21,607
持分法適用会社に対する持分相当額	△16,325	△6,929
その他の包括利益合計	△87,296	△81,848
四半期包括利益	972,905	52,436
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	972,934	53,274
非支配株主に係る四半期包括利益	△28	△837

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

Ⅰ 前第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結損益 計算書計上額
	電子機器 事業	スポーツ 事業	不動産事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	6,410,743	1,386,934	52,317	7,849,995	—	7,849,995
セグメント間の内部売上高又は振替高	60	—	513	573	△573	—
計	6,410,803	1,386,934	52,830	7,850,568	△573	7,849,995
セグメント利益	1,415,951	88,780	5,403	1,510,134	—	1,510,134

(注) 報告セグメントの利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結損益 計算書計上額
	電子機器 事業	スポーツ 事業	不動産事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,765,182	1,194,321	70,896	4,030,401	—	4,030,401
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	182	—	182	△182	—
計	2,765,182	1,194,504	70,896	4,030,583	△182	4,030,401
セグメント利益又は損失(△)	76,479	△23,948	△69,370	△16,839	—	△16,839

(注) 報告セグメントの利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
減価償却費	71,289千円	82,186千円